土岐川
庄内川
に行ってみた!!











生き物さがし
石ひろいでの
体験









[redacted]

この研究をしたきっかけ

僕は鉱物が大好きで、小さいころから生き物も好きです。だから土岐川や庄内川のイベントや石を拾いに行っていて土岐川や庄内川のことをもっと知りたい、研究してみたいと思ったからです。

やったこと

1　土岐川での石探し（ぐう然出会った貝の化石）

2　庄内川の生き物さがし、カヌー体験

3　ごう雨後の庄内川での石探しと治水について

4　まとめ、感想
（この研究をして感じたことと思ったこと）

① 土岐川での石探し（ぐう然出会った貝の化石）

日付：2026年2月23日

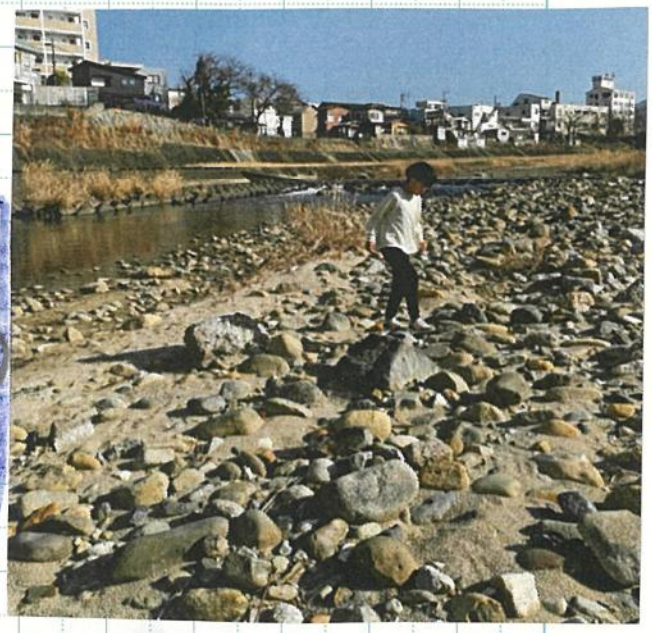
場所：瑞浪市河戸町（瑞浪橋の下）

僕は岐阜県瑞浪市の土岐川に石を拾いに行きました。
河原には、大きな石がごろごろあり、水の量は少ない日でした。
地層が重なった堆積岩がいっぱいありました。
帰り道、川の端っこにゴツゴツした形の石のようなものがありました。「もしかして」と、思って駆けつけて見てみると、貝のようなものが入っていました。

- 長さ 4.8cm
- 重さ 22g



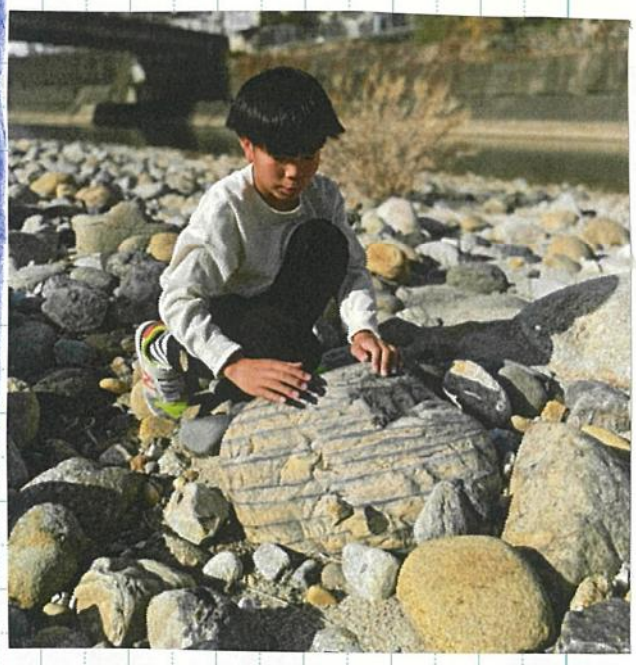
これをお母さんに見せると「すごいじゃんそれ貝の化石じゃない？」と、言われてじゃあこの化石はどうやってできたのだろうと疑問が湧きました。



調べて分かったこと

（出典：瑞浪市ホームページ）

今から2000万年から1550年前の湖や海の地層（瑞浪層群）で、当時生息していた植物、魚、哺乳類、貝などのおよそ5000種の化石が取れることが分かりました。



川の印象

- 水が澄んでいる。
- においない。
- 流れは少し速い。
- 川岸の石は大小さまざま。大きい石が多い。

② 庄内川の生き物探し カヌー体験



日付：2026年5月30日
場所：清須市みずとぴあ庄内
庄内川水防センター

- 名古屋市のイベントで生き物さがし、カヌー体験に参加しました。
- その日は暑い日だったので水が冷たくて気持ちよかったです。
- 川岸に多くの泥がたまっていて、そこを足でふむと足がうまりそうになりました。
- 底をあみですくうと小さな魚が取れました。
- タイヤがしずんでいてタイヤをあみでおおってタイヤをふってみると中からいろいろな生きもの（テナガエビ、ウナギなど）が出てきました。





・泥が多いところは少しにおいが気になりました。
・カヌーに乗って反対の川岸まで行ってみるとカヌーの底がつくほど浅い場所がありました。
・ボランティアの方が庄内川で生きている生き物をしょうかいしてくれました。
・庄内川にウナギがいたことには、すごくおどろきました。自分で生き物を取ってみてあまりきれいじゃない川だけど、たくさんの種類の生きものが生息していることが分かりました。



川の印象

・足をふみ入れただけで、泥がまって水がにごった。・流れは、ほぼない。・砂利が多い。
・においが気になった。

③ ごう雨の後の庄内川での石探し

日付:2026年9月13、22日
場所:春日井市条上町
上条グラウンド

- 9月8日にこの地いきで記録的ごう雨がありました。なので上流からいろんな石が流れてきていると思い2回庄内川に行ってみました。ごう雨の爪あとが残っていました。
- ごう雨のえいきょうで川の流れがだいぶ速く、川岸には、たくさんのゴミがありました。
- その日見つけてみたかったのは、珪化木と、メノウです。
- 川岸に、数メートルほどある、根っこごと流された木がありました。水の力はすごい力だということを改めて実感しました。



出典：ウィキペディア（　　）

珪化木とは

植物の化石。地層の水にとけた二酸化ケイ素が木材に沈着したものです。

メノウとは

しま状の玉ずいの一種。
英語ではアゲートと言う。
（珪化木もメノウも化学式はSiO_2で同じ）
二酸化ケイ素

- グラウンドの野球のネットもたおされていて、辺りの草もすべて下流に向かってたおされていた。



川の印象

・流れはだいぶ速かった。・水辺は少しくさかった。・石の大きさは小さいものが多かった。上流から流れてくる時にけずられているからだと思う。

採集した石（写真はすべて石をぬらした状態）



9月13日

Ⓐ Ⓑは珪化木のように見えるが、結晶へん岩かもしれない。（見わけがむずかしい）

Ⓒはタイル。上流にある多治見市は昔からタイルの生産地だから流れてきていると思う。

Ⓓはシーグラス。角が丸くなっている。

Ⓔは高さ10cmの石。こい赤と青緑が見られる。チャートっぽく見えるが不明。専門家の人に確にんしてもらいたい。

Ⓕ小さい赤い石。表面はつやつや。とうめい部分は玉ずいかもしれない。



9月22日

Ⓐ Ⓑ 前回と同じ様に、珪化木の可能性がある。前回よりサイズが大きい。

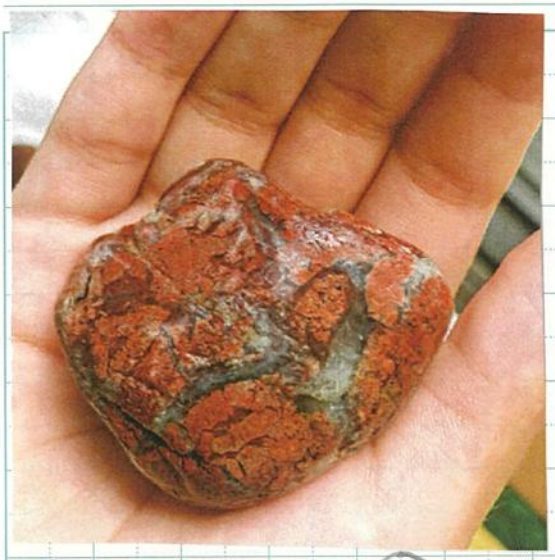
Ⓒ 石英のかたまり。オレンジ色で水でぬらすときれい。

Ⓓ おにぎりみたいな石。うら面には金ぐく質のみやくが入っていてルーペで見るとキラキラしていてきれい。

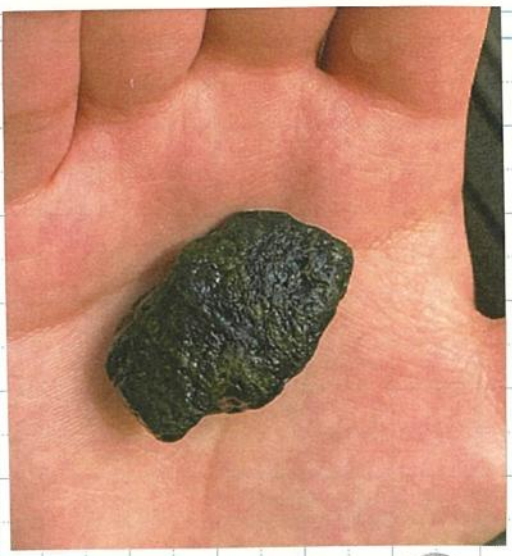
Ⓔ 色は深い青緑で美しい。表面がツルツルしていてつやがある。

Ⓕ チャートのように感じる。黄色と赤色のまざり方が特ちょう的。

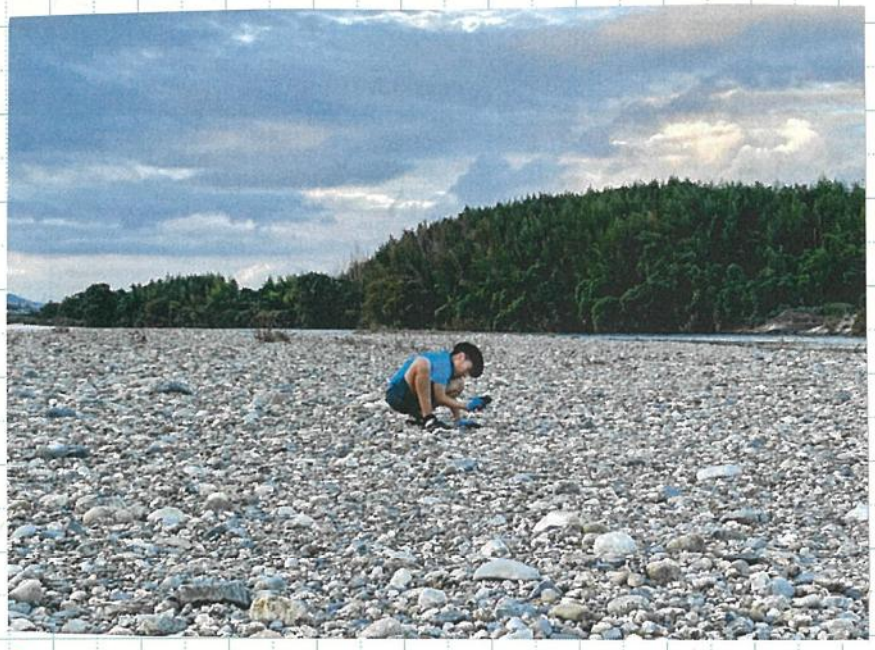
Ⓖ とうめい部分は石英に見える。あざやかな赤が美しい。水でぬらすととうめい度が増す。ジャスパー(へき玉)だと思う。



9月22日の㊁
長さ4.7cm 重さ87g



9月22日の㊂
長さ3.2cm 重さ17g



9月13日　上条グラウンドにて、石を採集している様子。

9月8日のごう雨について

- 1時間に104.5ミリの雨が名古屋にふりました。これは、観測史上最多となるはげしいごう雨でした。

庄内川はどうだったか?

- レベル5の「氾らん特別けい報」が出ましたが庄内川は氾らんしませんでした。
- 氾らんしなかった理由は、川を深くほって流せる水の量を増やしたり、堤防を整備しました。さらに調整池を作り、ひ害が出ないようにしたからです。※1
- 2000年の東海ごう雨を教訓として、このような取り組みを行いました。
- その結果、今回のごう雨では死者は出ませんでした。



大きな木も流す
水の力

※1… 出典:庄内川河川事む所ホームページ

④ まとめ

- 上流では、水がすんでいてにおわなかった。下流に行くほど水のにごりとにおいが気になりました。
- 下流に行くほど石が小さくなっていくことが分かりました。
- 庄内川にどんな生き物が生きているかが分かりました。
- ごう雨について調べていくにつれて水のカがどれだけすごい力なのかが分かりました。
- 治水工事をすることが大切だということを実感しました。

これからやりたいこと

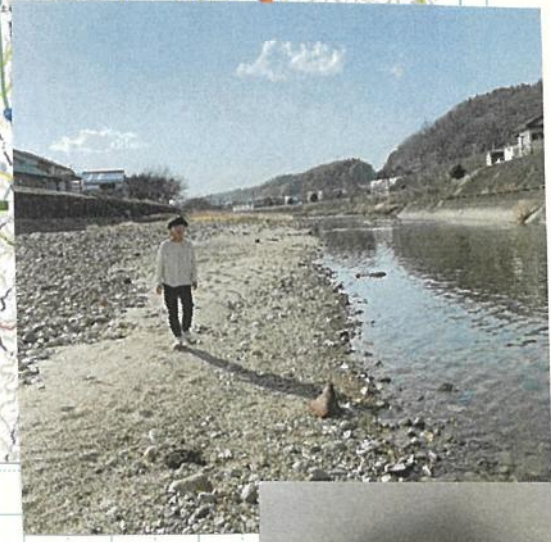
- もっと上流で石を拾ってみたいです。
- 石拾いの帰りなどに川岸に落ちているゴミを拾って水質がもっと良くなるようにしていきたいです。

地理院地図を加工して作成

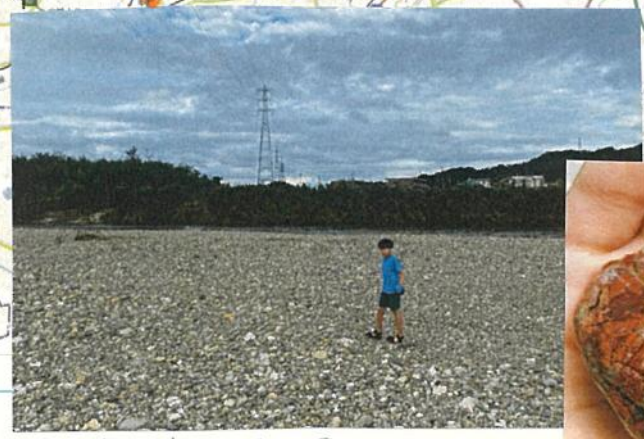
調査した戸仆の地図













清須市みずとぴあ庄内

瑞浪市
河戸町

春日井市 上条グラウンド